

Shadow Planner

for ARCHICAD

リファレンスマニュアル

(Windows 版及び Mac 版共通)

(Archicad25 対応版 Ver12)

目次

1 システムについて	1
1-1 はじめに	2
1-1-1 本システムの機能	2
1-1-2 本リファレンスマニュアルについて	2
1-2 本システムの起動	3
1-2-1 本システムを起動する	3
1-2-2 本システムを終了する	3
1-3 本システムのワークフロー	5
1-4 本システムの計算対象 Archicad モデル要素	6
1-4-1 計算対象 Archicad モデル要素	6
1-4-2 計算対象 Archicad モデル要素の表示	6
2 システムの操作	7
2-1 メインパレット	8
2-2 日影計算条件	9
2-2-1 「日影計算条件の設定」ダイアログ	9
2-2-2 数値入力で緯度・経度を設定する	10
2-2-3 都市を選択して緯度・経度を設定する	10
2-2-4 数値入力で方位を設定する	10
2-2-5 平面図で方位を指定する	11
2-2-6 Archicad で緯度・経度及び方位を設定する	11
2-3 みなし敷地作成	12
2-3-1 みなし敷地作成によって作成される Archicad モデル要素	12
2-3-2 みなし敷地を作成する	12
2-3-3 日影規制ラインを変更する	13
2-3-4 日影計算範囲を変更する	13
2-4 日影規制領域分割線作成	14
2-4-1 日影規制領域分割線作成によって作成される Archicad モデル要素	14
2-4-2 日影規制領域を分割する	14
2-4-3 日影規制領域分割線を作成する場合の注意事項	15
2-4-4 日影規制領域分割線を削除する	16
2-5 日影規制条件設定	17
2-5-1 「日影規制領域条件の設定」ダイアログ	17
2-5-2 平均地盤面高について	17
2-5-3 日影規制条件を設定する	18
2-6 規制ラインチェック	19
2-6-1 規制ラインチェックによって作成される Archicad モデル要素	19
2-6-2 「規制ラインチェックの設定」ダイアログ	19
2-6-3 規制ラインチェックを実行する	20
2-6-4 規制ラインチェック結果の見方	20

2-7 日照定規作成	21
2-7-1 日照定規作成によって作成される Archicad モデル要素	21
2-7-2 「日照定規の設定」ダイアログ	21
2-7-3 日照定規を作成する	22
2-7-4 日照定規の見方	22
2-8 時刻日影図計算	24
2-8-1 時刻日影図計算によって作成される Archicad モデル要素	24
2-8-2 「時刻日影計算の設定」ダイアログ	24
2-8-3 時刻日影図計算を実行する	25
2-8-4 時刻日影図	25
2-9 日影等時間図計算	27
2-9-1 日影等時間図計算によって作成される Archicad モデル要素	27
2-9-2 「等時間図計算の設定」ダイアログ	27
2-9-3 本システムにおける日影等時間計算方法について	28
2-9-4 日影等時間図計算を実行する	28
2-9-5 日影等時間図	29
2-10 エクスポート	30
2-10-1 データをエクスポートする	30
2-11 サポート情報	31
2-11-1 サポート情報を表示する	31

1 システムについて

1-1 はじめに

○Shadow Planner for ARCHICAD(以下、本システムという)は、建築基準法第 56 条の 2 に規定する日影規制のチェックを行う、Archicad25 及び Archicad25 solo のアドオンシステムです。

1-1-1 本システムの機能

○本システムには、以下の機能が搭載されています。

日 影 計 算

- ・時刻日影計算及び等時間日影計算を実行します
- ・複数の日影規制領域の一括計算が可能です
- ・日影規制ライン上の簡易チェックが可能です
- ・日照定規を用いての検討が可能です

1-1-2 本リファレンスマニュアルについて

○本リファレンスマニュアルは Windows 版/Mac 版共通です。

○本リファレンスマニュアルの画面廻りの画像は、Windows 版での表示です。

○本システムをインストールすると Archicad ヘルプメニュー/ドキュメント内に本リファレンスマニュアルが登録されます。

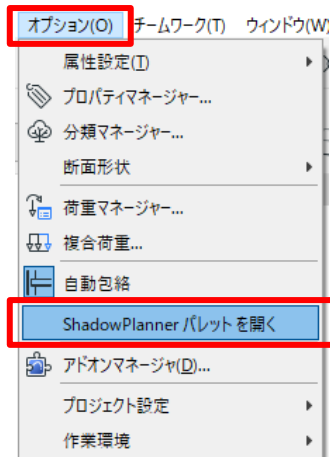
1-2 本システムの起動

1-2-1 本システムを起動する

○本システムは Archicad メニューから起動します。

[操作手順]

- 1) 平面図を選択します。
- 2) Archicad オプションメニューより、「ShadowPlanner パレットを開く」を選択します。



- 3) 本システムのメインパレットが開きます。



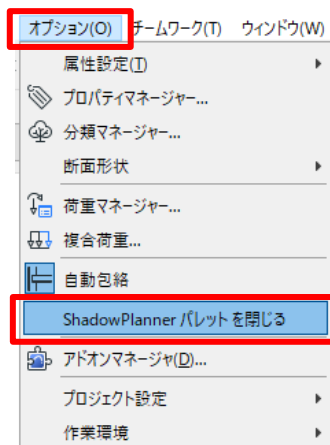
1-2-2 本システムを終了する

○Archicad メニューから終了、またはメインパレットから終了します。

1-2-2-1 Archicad メニューから終了する

[操作手順]

- 1) Archicad オプションメニューより、「ShadowPlanner パレットを閉じる」を選択します。



1-2-2-2 メインパレットから終了する

[操作手順]

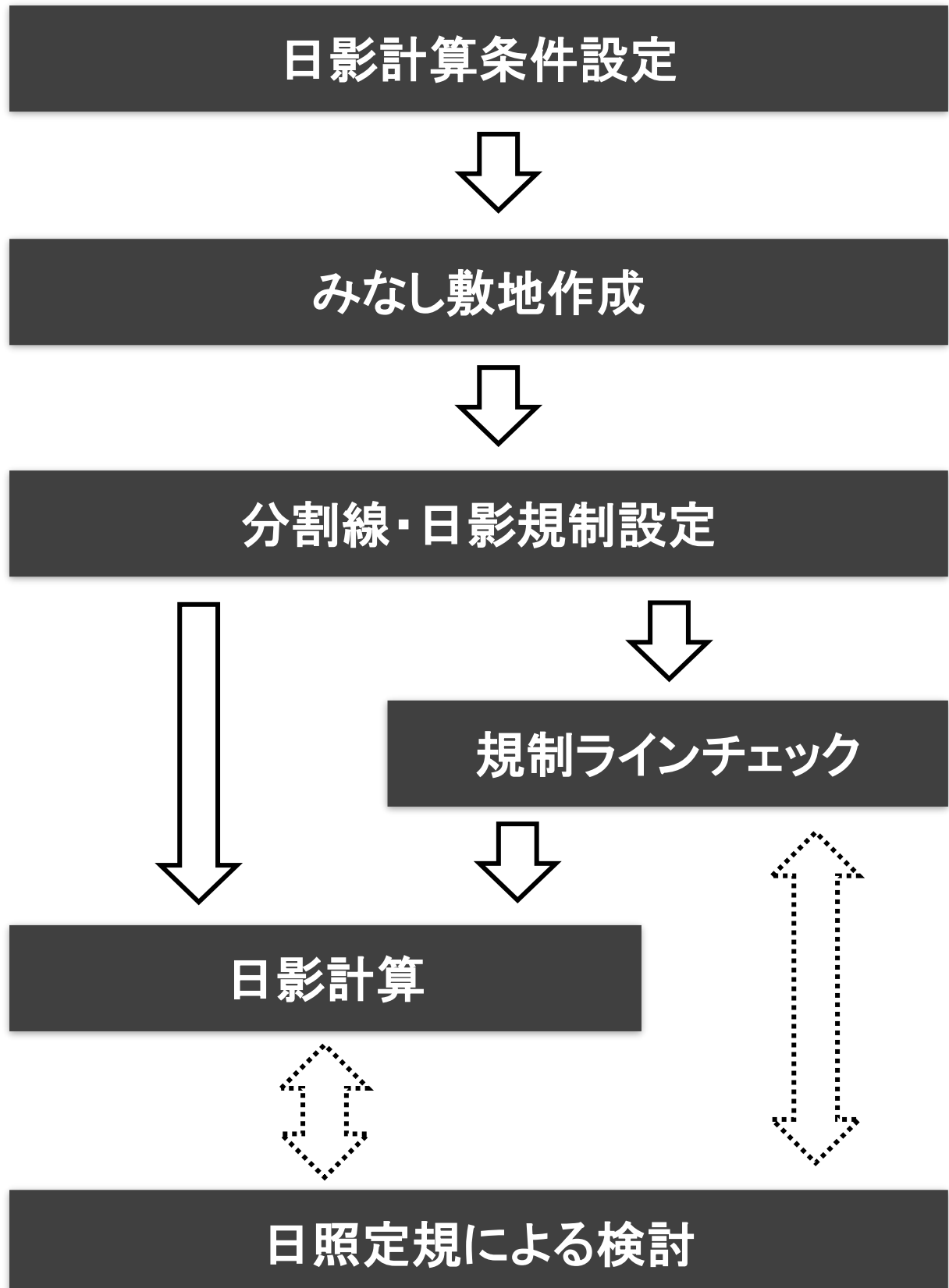
- 1) メインパレットの「×」を選択します。



1-3 本システムのワークフロー

○本システムでの日影規制チェックを行うにあたり、みなし敷地形状・建物形状及び各種条件を正しく設定する必要があります。

○設定した条件を確認・理解した上で解析してください。



1-4 本システムの計算対象 Archicad モデル要素

○本システムの計算対象となる Archicad モデル要素は以下の通りです。

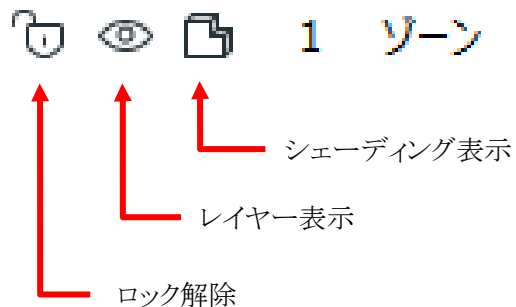
1-4-1 計算対象 Archicad モデル要素

○計算対象 Archicad モデル要素の形状は直方体に変換されます。

壁	スラブ	柱
梁	屋根	メッシュ
オブジェクト	カーテンウォール	ゾーン
シェル	モルフ	

1-4-2 計算対象 Archicad モデル要素の表示

○各種計算を実行する場合は、計算対象 Archicad モデル要素を平面図でシェーディング表示にする必要があります。



※通り芯要素が計算対象として認識される場合があります。通り芯要素は必ずレイヤーを非表示にしてください。

2 システムの操作

2-1 メインパレット

- メインパレットよりメニューを選択して各種操作を行います。
- 本システムの操作は、全て平面図で行います。
- 本システムによって作成される Archicad モデル要素を編集する場合は、必ずメインパレットを開いた状態で操作を行って下さい。



番号	項目名	概要
①	日影計算条件	日影計算条件を設定します
②	みなし敷地作成	日影規制ラインの元となるみなし敷地を作成します
③	日影規制領域分割線作成	日影規制領域の分割線を作成します
④	日影規制領域条件設定	日影規制領域の日影規制条件を設定します
⑤	規制ラインチェック	日影規制ライン上の任意のポイント単位で、日影規制の適否のチェックを行います
⑥	日照定規作成	日照定規の設定・作成を行います
⑦	時刻日影図計算	時刻日影図計算を行います
⑧	日影等時間図計算	日影等時間図計算を行います
⑨	エクスポート	ADS ファイル形式(.adsf)にエクスポートします
⑩	サポート情報	サポートに関するお問い合わせ先を表示します

2-2 日影計算条件

- 日影計算条件として、「緯度・経度」及び「方位」を設定します。
- 「方位」は真北を設定します。
- Archicad の「プロジェクトの場所」と連動しています。
- 「緯度・経度」は日本国内での値のみ計算結果を保証しています。
- 太陽赤緯は「冬至」で固定です。
- 時刻法は「真太陽時」で固定です。
- 計算時間は 8 時～16 時で固定です。

2-2-1 「日影計算条件の設定」ダイアログ

- メインパレットより、「日影計算条件」コマンドを選択すると開きます。

番号	項目名	概要
①	緯度	北緯または南緯を選択し、緯度を設定します ※通常は北緯による緯度を設定します
②	経度	東経または西経を選択し、経度を設定します ※通常は東経による経度を設定します
③	都市	Archicad に登録されている都市を選択し、緯度・経度を設定します ※Archicad に登録されている都市の緯度・経度は、建築基準法における日影計算で要求される緯度・経度と異なる場合があります
④	プロジェクトの北	Archicad の平面図上の真上を 90° として真北を設定します ※負の値は設定できません
⑤	方位指定	2 点指定により方位を設定します

2-2-2 数値入力で緯度・経度を設定する

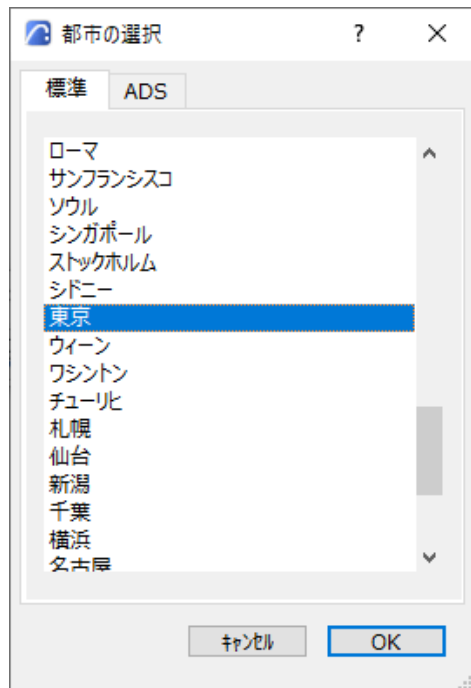
[操作手順]

- 1) 「緯度」及び「経度」に数値を入力します。

2-2-3 都市を選択して緯度・経度を設定する

[操作手順]

- 1) 「都市」を選択します。
- 2) 「都市の選択」ダイアログが開きます。



- 3) 該当する都市を選択します。
※「緯度・経度」は日本国内の緯度・経度のみ計算結果を保証しています。
※Archicad に登録されている都市の緯度・経度は、建築基準法における日影計算で要求される緯度・経度と異なる場合があります。
- 4) 「OK」を選択します。

2-2-4 数値入力で方位を設定する

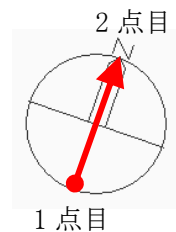
[操作手順]

- 1) 「プロジェクトの北」に数値を入力します。

2-2-5 平面図で方位を指定する

[操作手順]

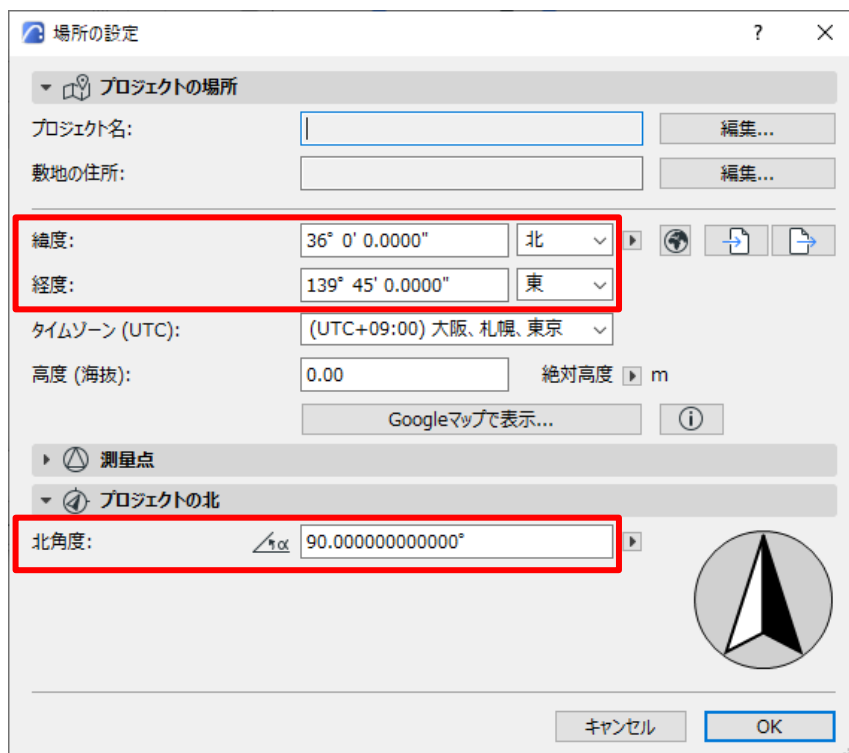
- 1) 「方位指定」を選択します。
- 2) 平面図より、南側の点を指定します。
- 3) 平面図より、北側の点を指定します。



2-2-6 Archicad で緯度・経度及び方位を設定する

[操作手順]

- 1) Archicad オプションメニューより、「プロジェクト設定/プロジェクトの場所」を選択します。
- 2) 「プロジェクトの場所」ダイアログが開きます



- 3) 「緯度」、「経度」、及び「プロジェクトの北」を設定します。
※詳細な操作は Archicad リファレンスガイドを参照して下さい。
- 4) 「OK」を選択します。

2-3 みなし敷地作成

- 本システムでは、法 56 条の 2 第 3 項の規定により令 135 条の 12 第 1 項第 3 号の緩和が適用された、敷地境界線とみなす敷地境界線で構成される敷地形状のことを「みなし敷地」と定義しています。
- みなし敷地から、閉鎖型の日影規制ライン(5m/10mライン)を自動生成します。
- 日影規制ラインは、外側 10m、内側 5mで固定です。
- 発散型の日影規制ラインは生成できません。
- 作成できるみなし敷地は 1 つのみです。
- みなし敷地は直線のみで構成する必要があります。円弧は多角形分解して直線で作成します。

2-3-1 みなし敷地作成によって作成される Archicad モデル要素

- みなし敷地の入力は何のフロアでも可能ですが、みなし敷地塗りつぶし要素はフロア番号「1」に作成され、日影規制領域ゾーン及び日影規制ライン線要素は入力したフロアに作成されます。
- 日影規制領域ゾーンは、みなし敷地中心から概ね±250mの範囲で作成されます。

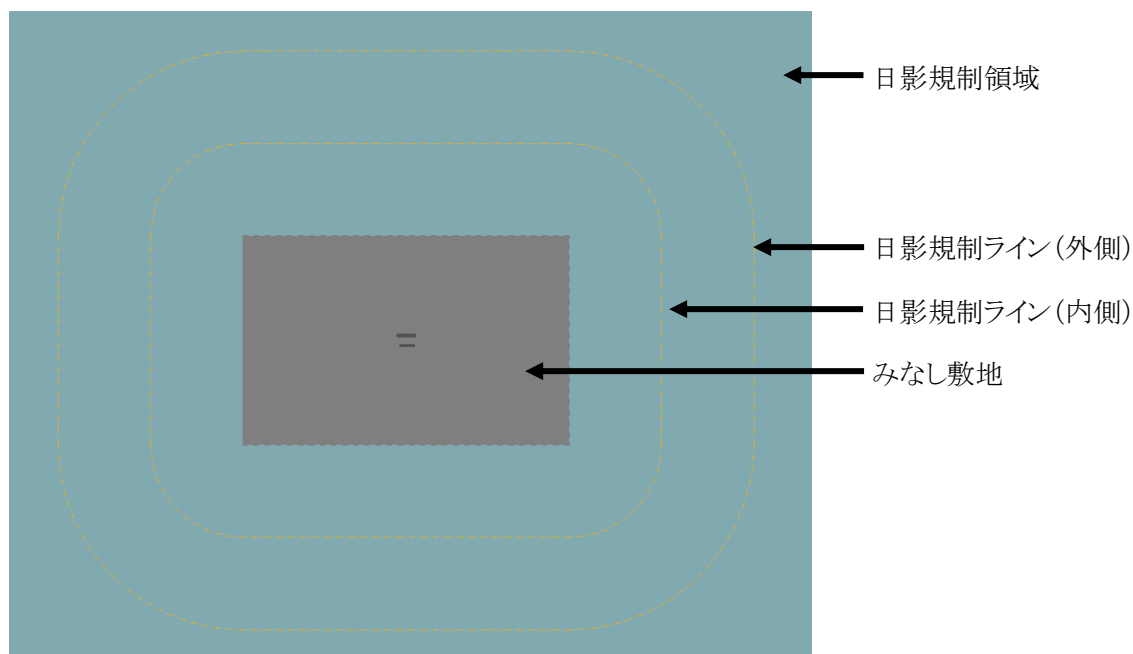
名称	概要	要素	レイヤー
みなし敷地	日影規制ラインの元となる、みなし敷地です	塗りつぶし	日影_みなし敷地
日影規制ライン	日影規制ラインです	線	日影_規制ライン
日影規制領域	日影規制設定用の領域です	ゾーン	日影_規制領域

2-3-2 みなし敷地を作成する

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「みなし敷地作成」コマンド選択します。
- 2) 平面図で、みなし敷地形状の各敷地境界点を選択し、閉じた図形を作成します。

※Archicad の「図形作成法:ポリゴン」の操作方法に準じます。

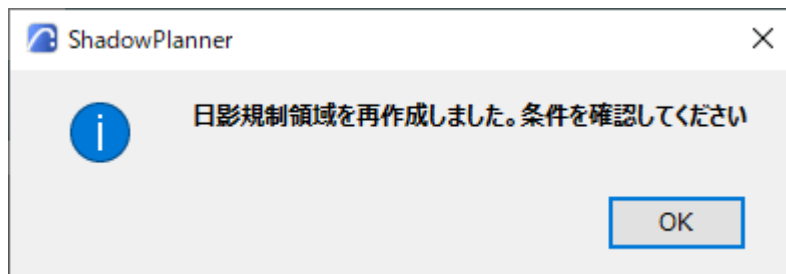


2-3-3 日影規制ラインを変更する

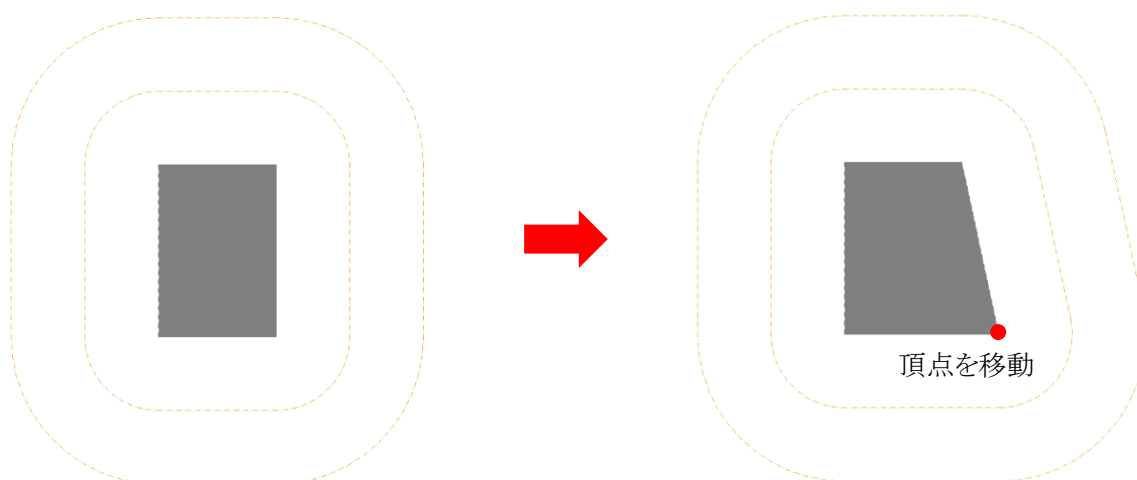
○日影規制ラインの変更は、みなし敷地塗りつぶし要素を編集することで行います。

[操作手順]

- 1) みなし敷地塗りつぶし要素を選択します。
- 2) Archicad ペットパレット各コマンドでみなし敷地塗りつぶし要素を編集します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「OK」を選択します。
- 5) みなし敷地塗りつぶし要素の形状にあわせて、日影規制ラインが変更します。



※上図では、「日影_規制領域」レイヤーを非表示にしています。

2-3-4 日影計算範囲を変更する

○日影計算範囲の変更は、日影規制領域ゾーンを編集することで行います。

○日影規制領域ゾーンの範囲内のみ、各種日影図が作成されます。

[操作手順]

- 1) 日影規制領域ゾーンを選択します。
- 2) Archicad ペットパレット各コマンドで日影規制領域ゾーンを編集します。

2-4 日影規制領域分割線作成

○日影規制条件または平均地盤面高が複数存在する場合に、日影規制領域を分割します。

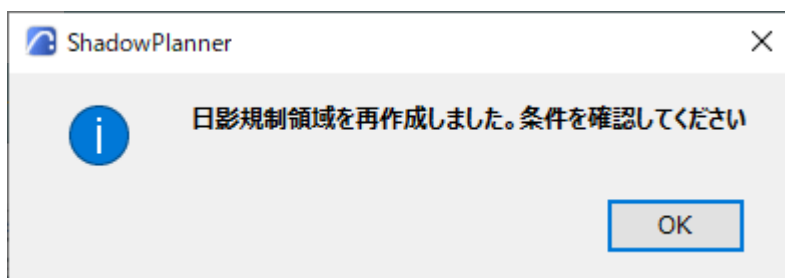
2-4-1 日影規制領域分割線作成によって作成される Archicad モデル要素

名称	概要	要素	レイヤー
日影規制領域分割線	日影規制領域を分割する線です	ポリライン	日影_規制分割線

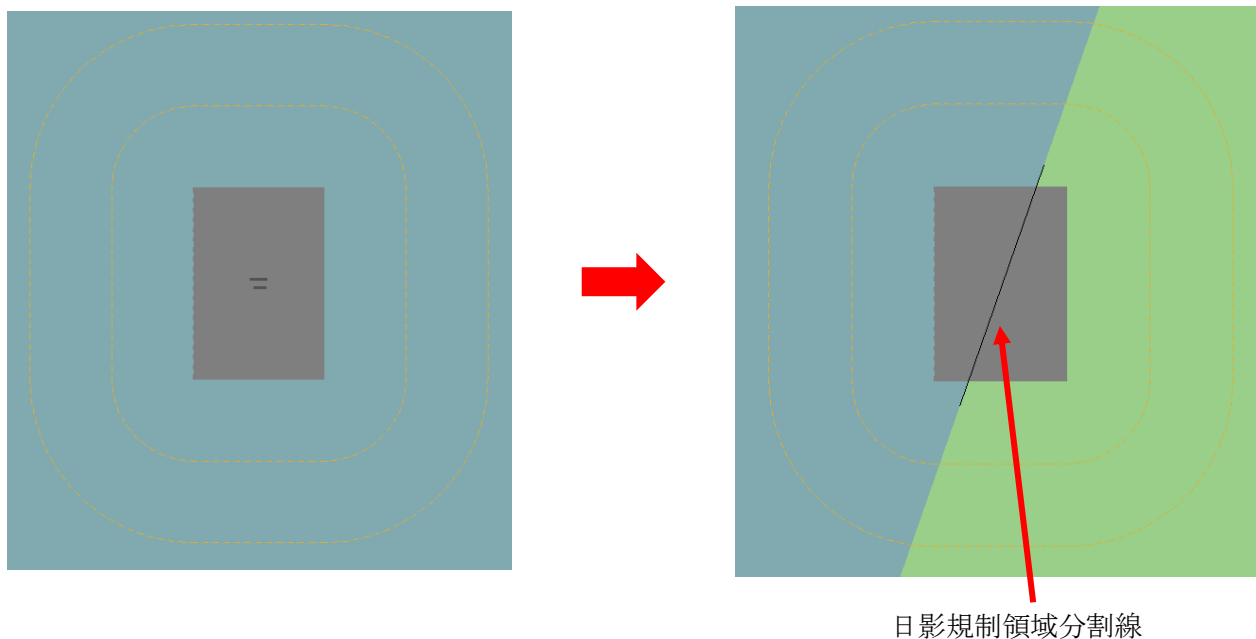
2-4-2 日影規制領域を分割する

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「日影規制領域分割線作成」コマンドを選択します。
- 2) 平面図で、領域分割線を作成します。
※Archicad の「図形作成法:ポリゴン」の操作方法に準じます。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



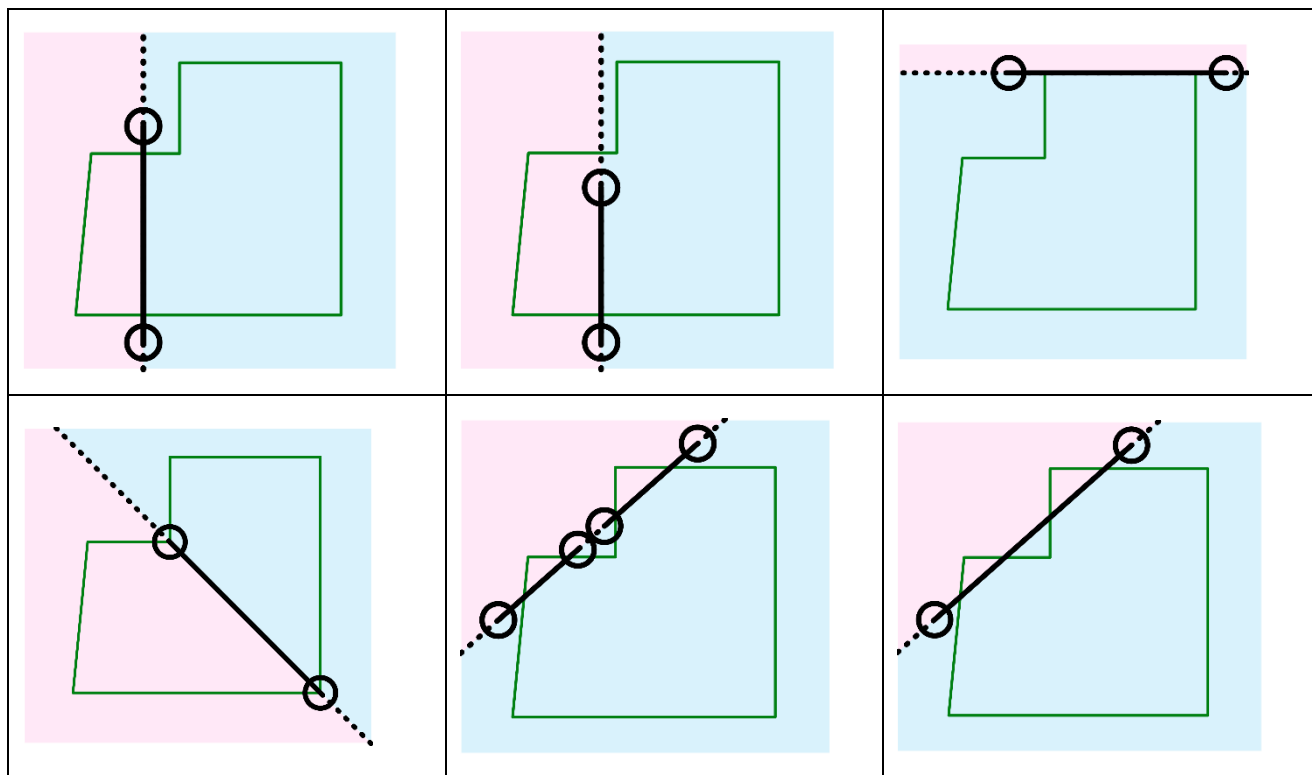
- 4) 「OK」を選択します。



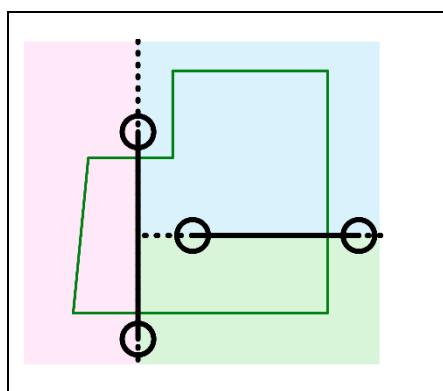
2-4-3 日影規制領域分割線を作成する場合の注意事項

- 1 の日影規制領域分割線につき、1 の日影規制領域の分割となります。
- 入力した日影規制領域分割線は、日影規制領域ゾーンの最大範囲まで延長して認識します。
- 途中で日影規制領域分割線の交点がある場合、交点までの延長となります。
- みなし敷地外の日影規制領域の分割も可能です。

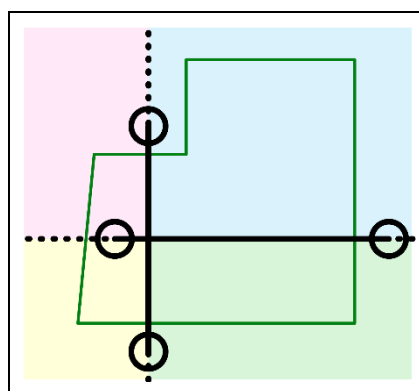
・2 領域に分割



・3 領域に分割



・4 領域に分割

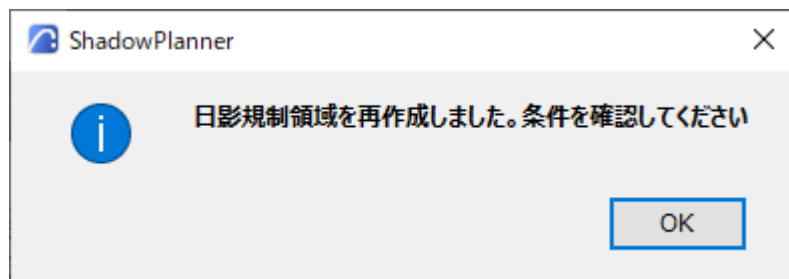


2-4-4 日影規制領域分割線を削除する

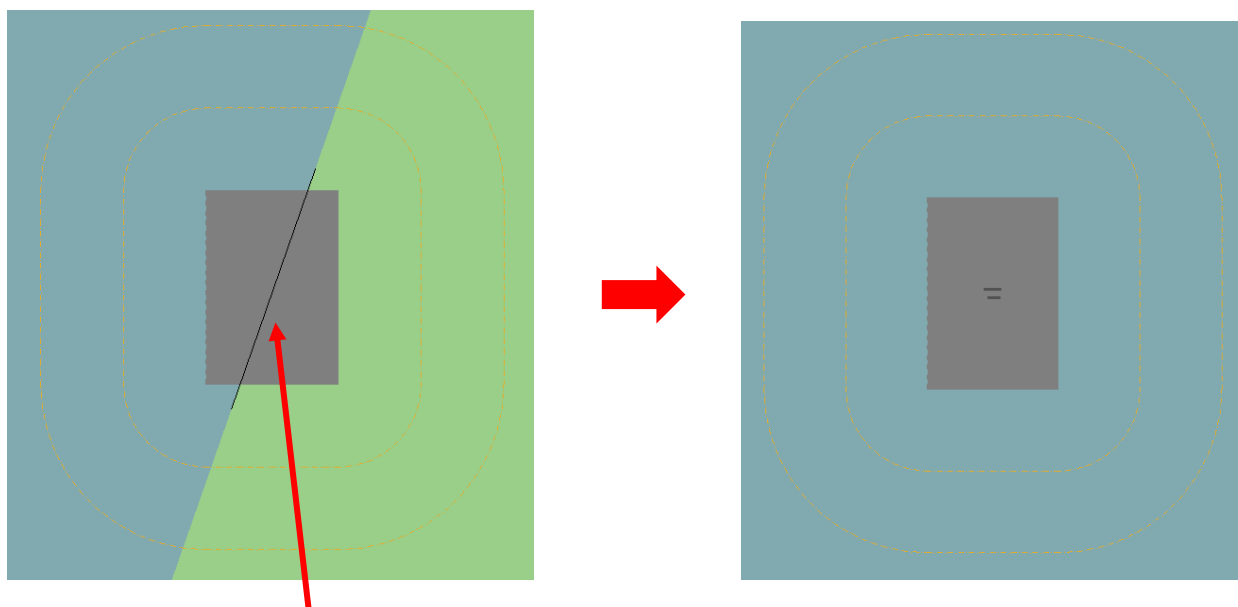
○日影規制領域分割線を削除すると、日影規制領域の分割がなくなります。

[操作手順]

- 1) 日影規制領域分割線を選択します。
- 2) 日影規制領域分割線を削除します。
※Archicad の要素削除方法に準じます。
- 3) 確認ダイアログが開きます。



- 4) 「OK」を選択します。



日影規制領域分割線を削除

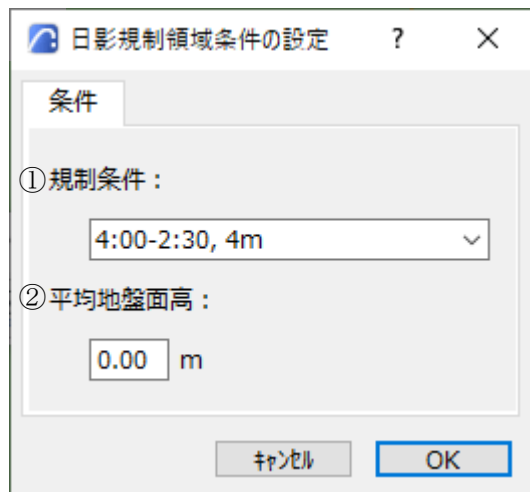
2-5 日影規制条件設定

○日影規制領域の日影規制条件を設定します。

○複数の日影規制領域が存在する場合は、それぞれの日影規制領域で設定を行います。

2-5-1 「日影規制領域条件の設定」ダイアログ

○日影規制領域ゾーンを選択した上で、メインパレットより、「日影規制領域条件設定」コマンドを選択すると開きます。



番号	項目名	概要
①	規制条件	法 56 条の 2 第1項別表第四で定める日影規制条件をプルダウンメニューより選択します ※「無規制」を選択した場合、日影計算は実行されません。
②	平均地盤面高	法別表第 4 欄外に定める平均地盤面の高さを設定します

2-5-2 平均地盤面高について

○測定面は Archicad の±0m からの高さとなります。

○平均地盤面の高さが Archicad の±0 と異なる場合に、「平均地盤面高」で調整をします。

平均地盤面高が Archicad の±0 より高い場合	平均地盤面高＝Archicad の±0 の場合	平均地盤面高が Archicad の±0 より低い場合

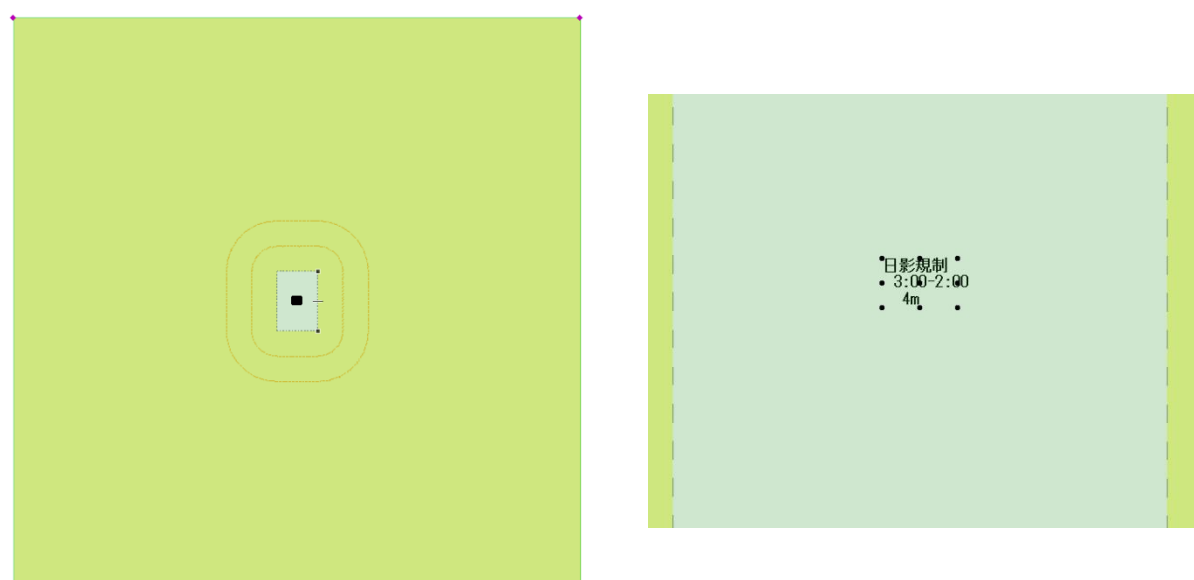
2-5-3 日影規制条件を設定する

[操作手順]

- 1) 平面図より、日影規制条件を設定する日影規制領域ゾーンを選択します。



- 2) メインパレットより、「日影規制条件設定」を選択します。
- 3) 「日影規制領域条件の設定」ダイアログが開きます。
- 4) 日影規制条件をプルダウンメニューより選択します。
- 5) 必要に応じて平均地盤面高を設定します。
- 6) 「OK」を選択します。



※選択した日影規制条件によって、日影規制領域ゾーンのゾーンカテゴリが異なります。

2-6 規制ラインチェック

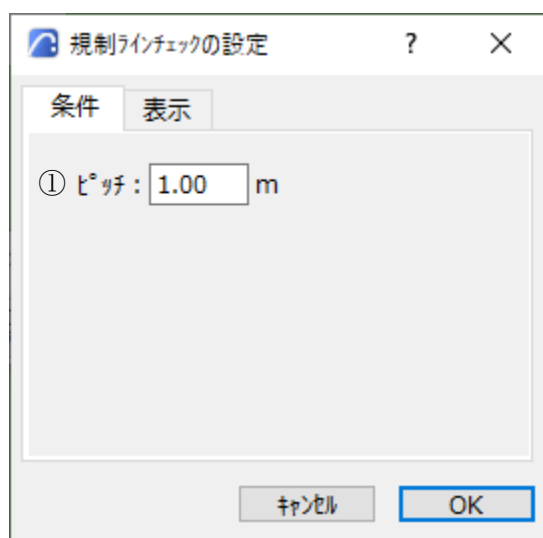
- 日影規制ライン上に、日影規制への適否の判定を行う規制ラインチェックポイントを生成します。
- 規制ラインチェックポイントの色によって、適否の判定を行います。
- 等時間日影図計算と比較して、短時間で日影規制への適否のチェックができます。

2-6-1 規制ラインチェックによって作成される Archicad モデル要素

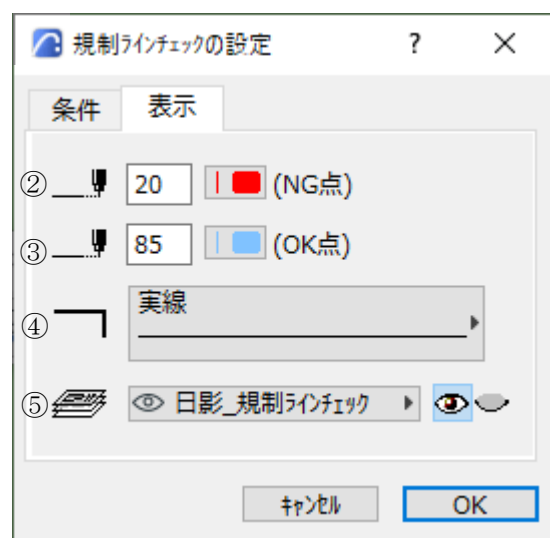
名称	概要	要素	レイヤー
規制ラインチェックポイント	日影規制への適否の判定を行う規制ラインチェックポイントです	オブジェクト	日影_規制ラインチェック

2-6-2 「規制ラインチェックの設定」ダイアログ

・条件タブ



・表示タブ



番号	項目名	概要
①	ピッチ	規制ラインチェックポイントの生成ピッチを設定します
②	NG 点ペン設定	日影規制に不適合の規制ラインチェックポイントのペン番号を設定します
③	OK 点ペン設定	日影規制に適合の規制ラインチェックポイントのペン番号を設定します
④	線種設定	日影規制チェックポイントオブジェクト要素の線種を設定します
⑤	レイヤー設定	日影規制チェックポイントオブジェクト要素のレイヤーを設定します 選択したレイヤーの表示/非表示を設定します

2-6-3 規制ラインチェックを実行する

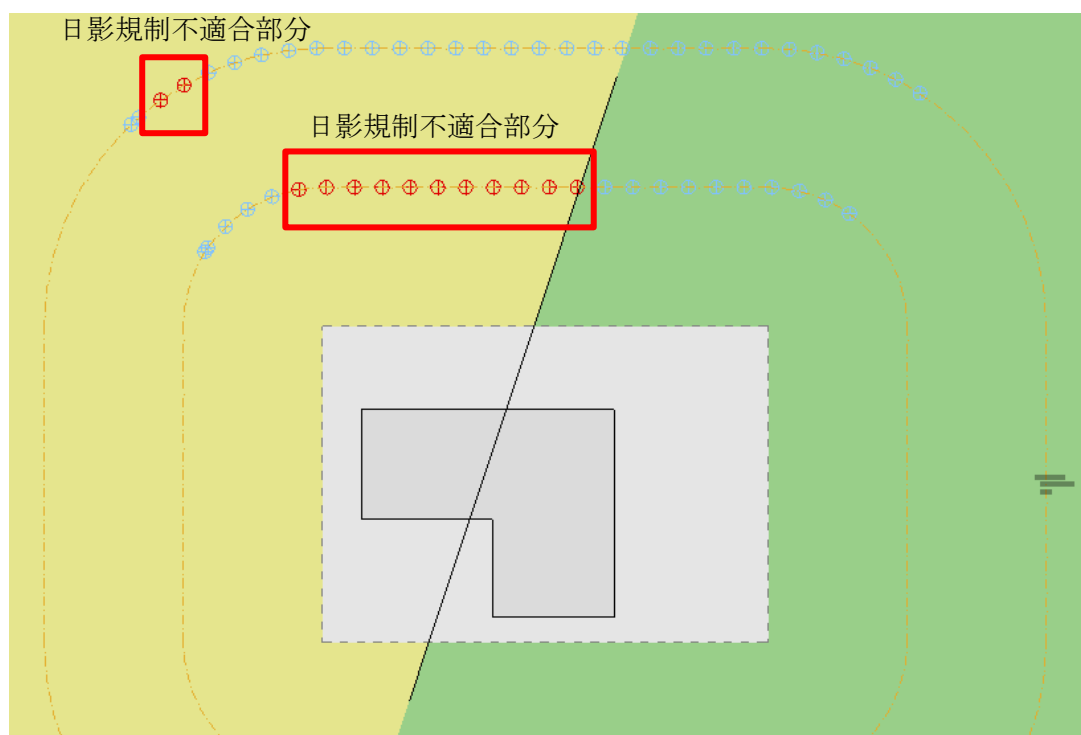
○「日影_規制ライン」レイヤーが非表示の場合は、規制ラインチェックを実行できません。

○日影規制領域分割線上は規制ラインチェックを行いません。

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「規制ラインチェック」コマンドを選択します。
- 2) 「規制ラインチェックの設定」ダイアログが開きます。
- 3) 「ピッチ」を設定します。
- 4) 必要に応じて、表示タブの項目を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

2-6-4 規制ラインチェック結果の見方



・規制ラインチェックポイント

判定	表示	デフォルトペン番号
不適合 (NG 点)		20
適合 (OK 点)		85

2-7 日照定規作成

○指定した任意の点の日照定規を作成します。

○日照定規は平面図または 3D ウィンドウで確認できます。

2-7-1 日照定規作成によって作成される Archicad モデル要素

名称	概要	要素	レイヤー
日照定規	日照定規です	オブジェクト	日影_日照定規

2-7-2 「日照定規の設定」ダイアログ

・条件タブ



・表示タブ



番号	項目	概要
①	高さ曲線選択	高さ曲線の高さ表示を選択します
		固定ピッチ 設定したピッチを設定した最高高さまで表示します
		フロア高 フロア設定の高さを表示します
②	ピッチ	「高さ曲線選択」で「固定ピッチ」を選択した場合に、高さ表示をするピッチを設定します
③	最高高さ	「高さ曲線選択」で「固定ピッチ」を選択した場合に、高さ表示をする最高高さを設定します
④	1 時間線ペン設定	1 時間線のペン番号を設定します
⑤	10 分線ペン設定	10 分線のペン番号を設定します
⑥	高さ線ペン設定	高さ線のペン番号を設定します

番号	項目	概要
⑦	定規面ペン設定	定規面のペン番号を設定します
⑧	定規面材質設定	3D 表示の場合の日照定規面の材質を設定します
⑨	フォント設定	日照定規に表示するフォントを選択します
⑩	フォントサイズ設定	日照定規に表示するフォントサイズを設定します
⑪	レイヤー設定	日照定規オブジェクト要素のレイヤーを設定します 選択したレイヤーの表示/非表示を設定します

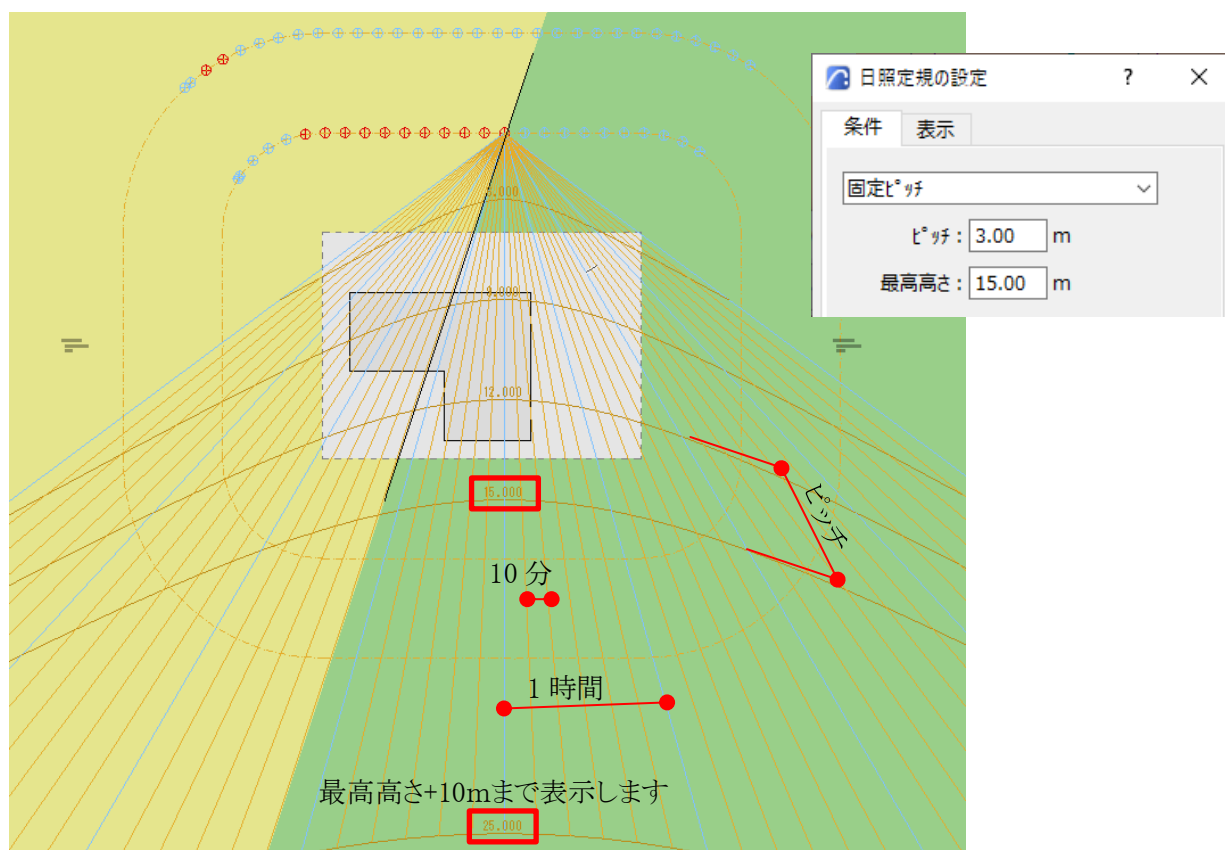
2-7-3 日照定規を作成する

[操作手順]

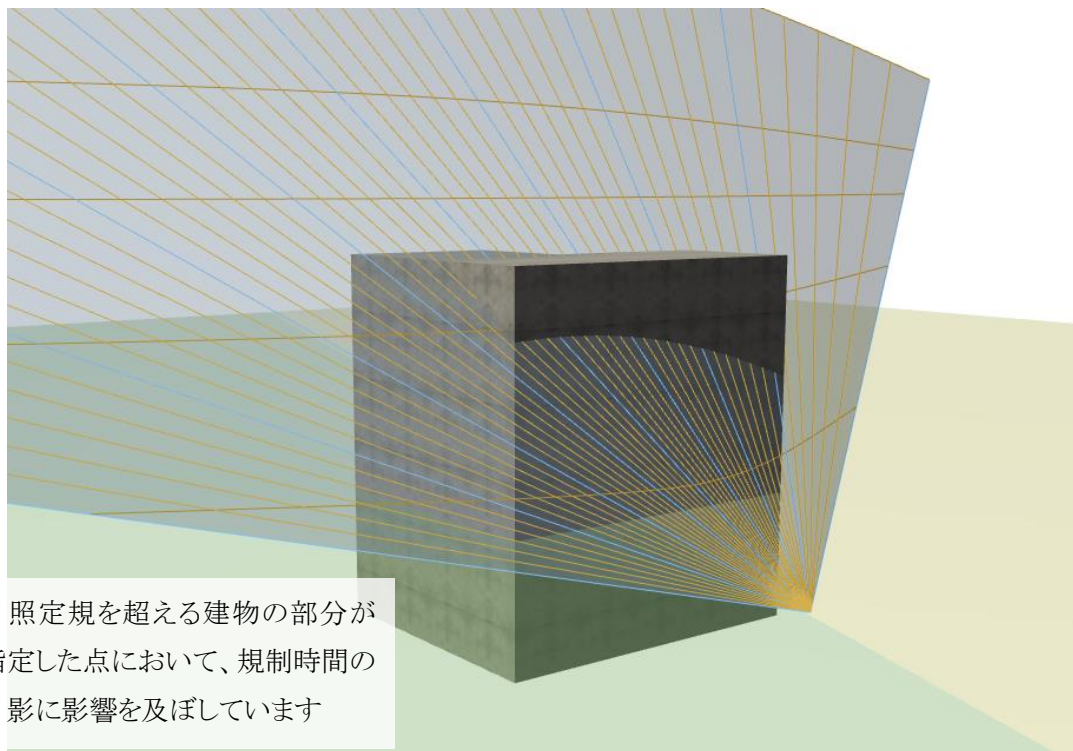
- 1) メインパレットより、「日照定規作成」コマンドを選択します。
- 2) 「日照定規の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 高さ曲線の種類を選択します。
- 4) 必要に応じて、「ピッチ」及び「最高高さ」を設定します。
- 5) 必要に応じて、表示タブの項目を設定します。
- 6) 「OK」を選択します。
- 7) 平面図より、日照定規を表示する点を指定します。

2-7-4 日照定規の見方

・平面図



・3D ウィンドウ



日照定規を超える建物の部分が
指定した点において、規制時間の
日影に影響を及ぼしています

2-8 時刻日影図計算

○時刻日影図計算を実行します。

○計算結果の自動更新は行いません。日影計算条件及び計算対象 Archicad モデル要素を変更した場合は、必ず再計算を実行してください。

2-8-1 時刻日影図計算によって作成される Archicad モデル要素

名称	概要	要素	レイヤー
時刻日影図	時刻日影図です **:**は日影計算時刻を示します	オブジェクト	日影_時刻日影図
時刻日影文字	時刻日影線の計算時刻を表示します	文字	日影_時刻日影図

2-8-2 「時刻日影計算の設定」ダイアログ

・条件タブ

時刻日影計算の設定

条件 表示

① 計算間隔: 1 時間 0 分

② 太陽赤緯: 冬至[12月22日頃]
-23度27分00秒

③ 計算範囲: 8時00分～16時00分

④ 緯度: 36度00分00秒
経度: 139度45分00秒

⑤ 方位: 0度00分00秒

キャンセル OK

・表示タブ

時刻日影計算の設定

条件 表示

⑥ 55

⑦ 実線

⑧ 81

⑨ 実線

⑩ M S ゴシック 日本語

⑪ M 5.00 mm

⑫ 日影_時刻日影図

キャンセル OK

番号	項目	概要
①	計算間隔	計算間隔を設定します
②	太陽赤緯	日影計算を行う太陽赤緯を表示します ※「冬至」で固定です
③	計算範囲	日影計算を行う時刻の範囲を表示します ※「8 時 00 分～16 時 00 分」で固定です
④	緯度・経度	日影計算を行う緯度・経度を表示します
⑤	方位	日影計算を行う方位を表示します ※「設定角度-90 度」の値を表示します

番号	項目	概要
⑥	時刻日影線ペン設定 (奇数番目)	奇数番目の時刻日影線のペン番号を設定します
⑦	時刻日影線線種設定 (奇数番目)	奇数番目の時刻日影線の線種を設定します
⑧	時刻日影線ペン設定 (偶数番目)	偶数番目の時刻日影線のペン番号を設定します
⑨	時刻日影線線種設定 (偶数番目)	偶数番目の時刻日影線の線種を設定します
⑩	フォント設定	時刻日影文字のフォントを選択します
⑪	フォントサイズ設定	時刻日影文字のフォントサイズを設定します
⑫	レイヤー設定	時刻日影図計算によって作成される Archicad モデル要素のレイヤーを設定します 選択したレイヤーの表示/非表示を設定します

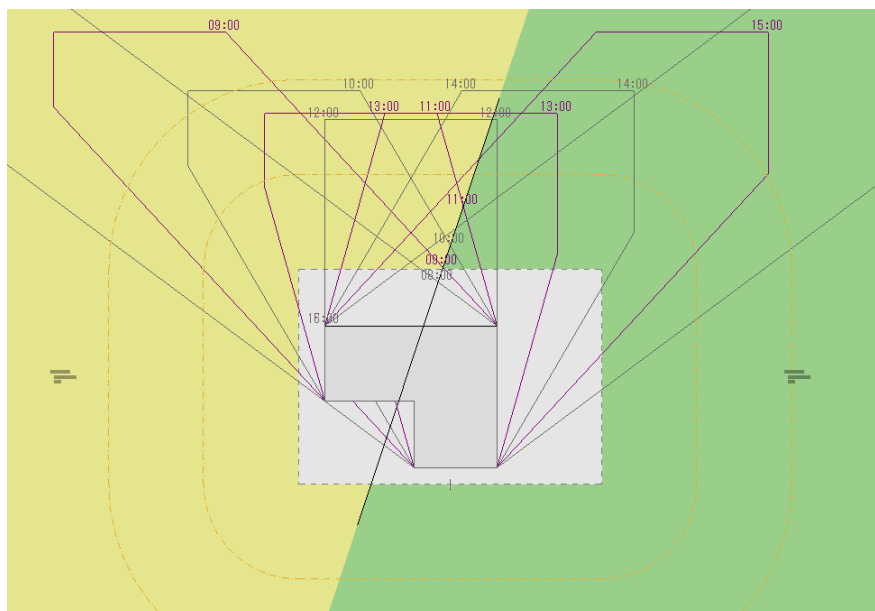
2-8-3 時刻日影図計算を実行する

[操作手順]

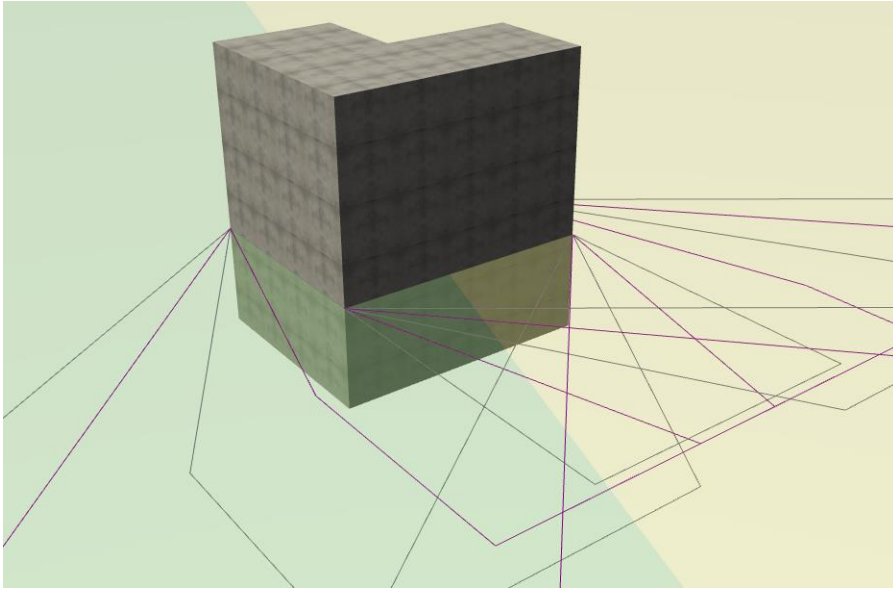
- 1) メインパレットより、「時刻日影図計算」コマンドを選択します。
- 2) 「時刻日影計算の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 「計算間隔」を設定します。
- 4) 必要に応じて、表示タブの項目を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

2-8-4 時刻日影図

・平面図



•3D ウィンドウ



2-9 日影等時間図計算

○日影等時間図計算を実行します。

○計算結果の自動更新は行いません。日影計算条件及び計算対象 Archicad モデル要素を変更した場合は、必ず再計算を実行してください。

2-9-1 日影等時間図計算によって作成される Archicad モデル要素

名称	概要	要素	レイヤー
日影等時間図	日影等時間図です **:*は日影計算時刻を示します	オブジェクト	日影_等時間図
日影等時間文字	日影等時間図の計算時刻を表示します	文字	日影_等時間図

2-9-2 「等時間図計算の設定」ダイアログ

・条件タブ

等時間図計算の設定

条件 表示

① 計算ピッチ: 1.00 m

② 太陽赤緯: 冬至[12月22日頃]
-23度27分00秒

③ 計算範囲: 8時00分～16時00分

緯度: 36度00分00秒

④ 経度: 139度45分00秒

⑤ 方位: 0度00分00秒

キャンセル OK

・表示タブ

等時間図計算の設定

条件 表示

⑥ 10

⑦ 実線

⑧ 25

⑨ 実線

⑩ MS ゴシック 日本語

⑪ M 5.00 mm

⑫ 日影_等時間図

キャンセル OK

番号	項目	概要
①	計算ピッチ	計算ピッチを設定します 計算ピッチが細かいほど精度が上がりますが、計算時間がかかります
②	太陽赤緯	日影計算を行う太陽赤緯を表示します ※「冬至」で固定です
③	計算範囲	日影計算を行う時刻の範囲を表示します ※「8 時 00 分～16 時 00 分」で固定です

番号	項目	概要
④	緯度・経度	日影計算を行う緯度・経度を表示します
⑤	方位	日影計算を行う方位を表示します ※「設定角度-90 度」の値を表示します
⑥	外側等時間線ペン設定	外側の日影等時間線のペン番号を設定します
⑦	外側等時間線線種設定	外側の日影等時間線の線種を設定します
⑧	内側等時間線ペン設定	内側の日影等時間線のペン番号を設定します
⑨	内側等時間線線種設定	内側の日影等時間線の線種を設定します
⑩	フォント設定	日影等時間文字のフォントを選択します
⑪	フォントサイズ設定	日影等時間文字のフォントサイズを設定します
⑫	レイヤー設定	日影等時間図計算によって作成される Archicad モデル要素のレイヤーを設定します 選択したレイヤーの表示/非表示を設定します

2-9-3 本システムにおける日影等時間計算方法について

- 本システムの等時間日影計算は、規制時間の日影等時間線の開始点となる建物ポイントを自動的に検索して追跡法による計算を実行します。
- 計算対象 Archicad モデル要素の各端点のうち、各規制時間の日影等時間線の開始点となるポイントを自動検索して、開始点を起点に計算を開始します。
- 日影等時間線の開始点が検索できない場合は計算ができませんので、計算ピッチを細かくして下さい。
- 島日影が生じる場合や、日影等時間線の開始点が2以上ある場合には計算できません。

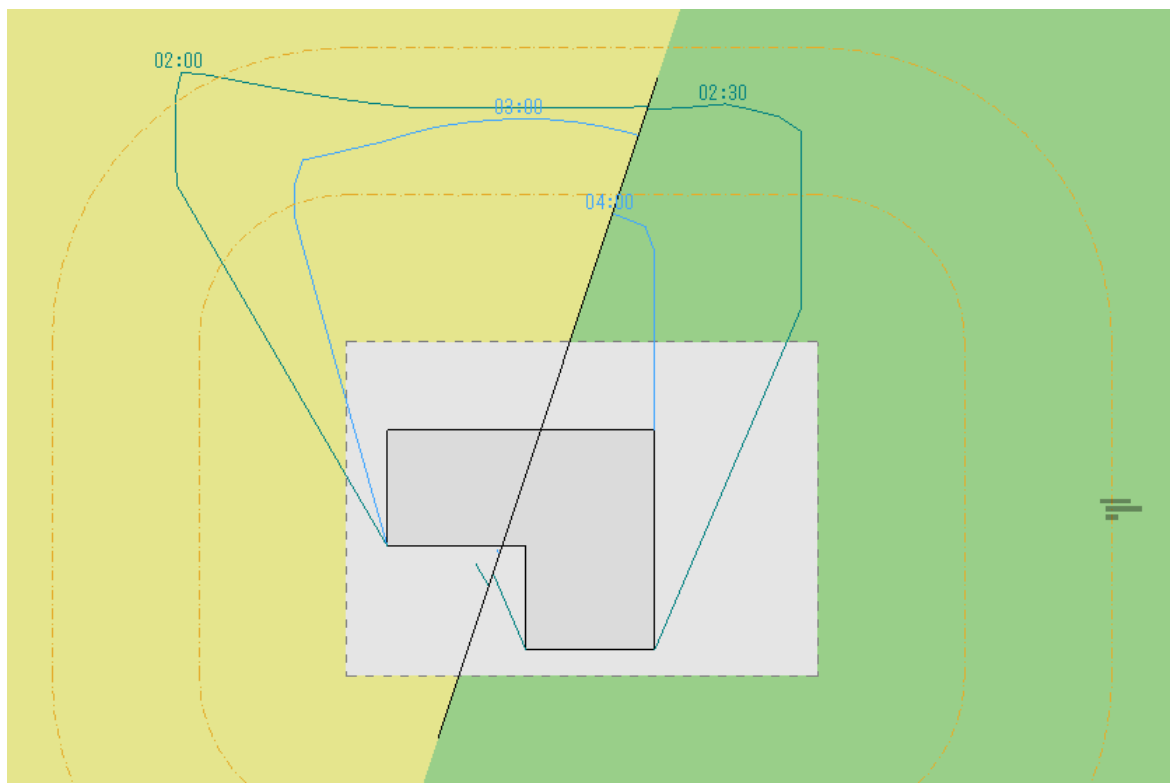
2-9-4 日影等時間図計算を実行する

[操作手順]

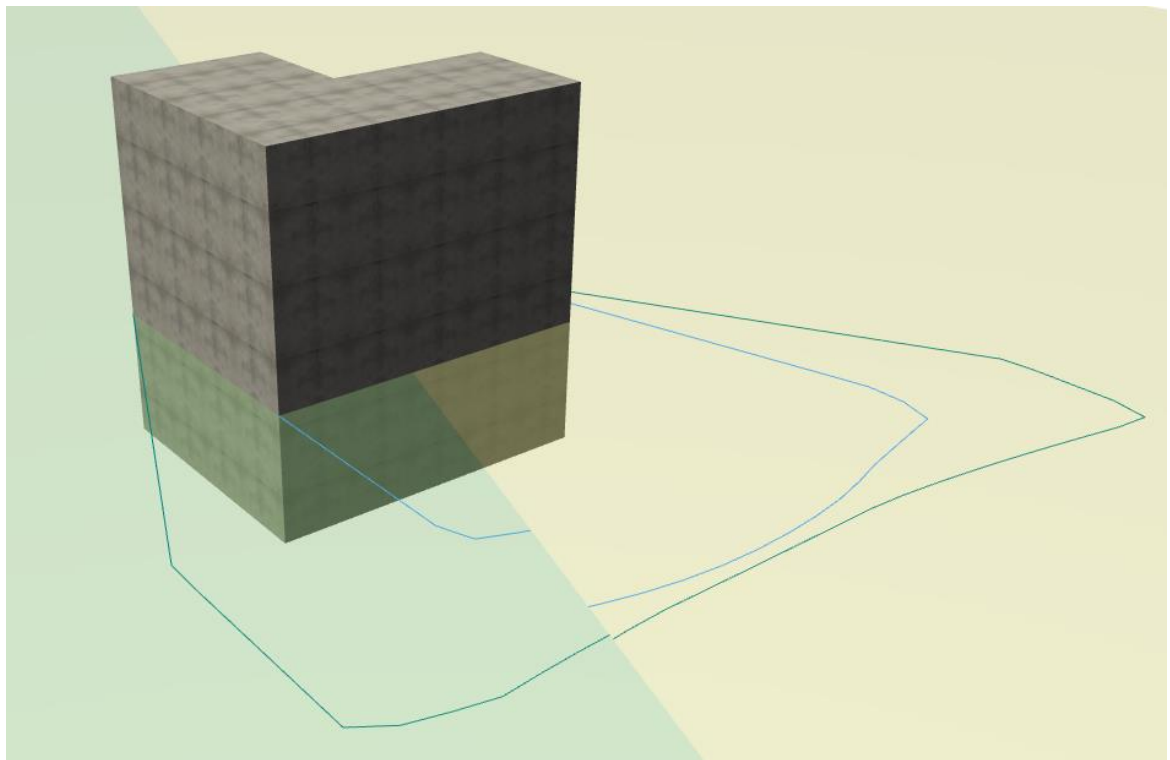
- 1) メインパレットより、「日影等時間図計算」コマンドを選択します。
- 2) 「等時間図計算の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 「計算ピッチ」を設定します。
- 4) 必要に応じて、表示タブの項目を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

2-9-5 日影等時間図

・平面図



・3D ウィンドウ



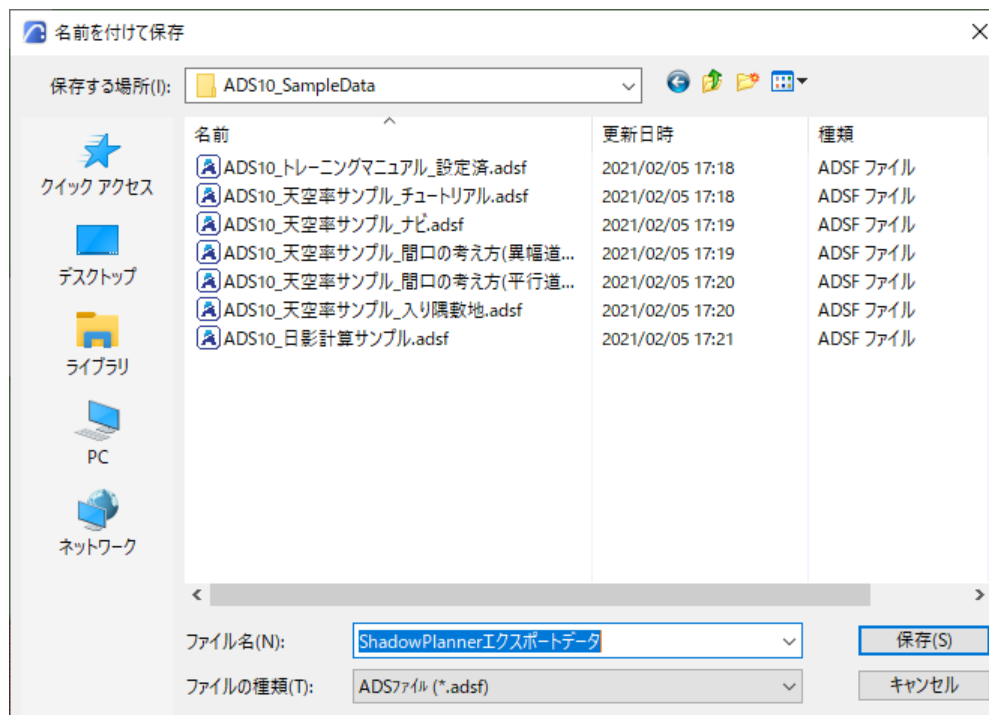
2-10 エクスポート

- ADS-Family のファイル形式である ADS ファイル形式(.cw3)に、みなし敷地形状、日影規制条件、及び計算対象 Archicad モデル要素をエクスポートします。
- エクスポートしたデータを ADS-Family または各種 ADS-BT にインポートすると、本システムのみなし敷地形状が各システムの本敷地形状としてインポートされます。
- みなし敷地形状は、日影規制ラインの緩和後の形状ですので、各システムにインポート後本敷地形状を編集する必要があります。

2-10-1 データをエクスポートする

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「エクスポート」コマンドを選択します。
- 2) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 3) 「保存する場所」及び「ファイル名」を設定します。



- 4) 「保存」を選択します。

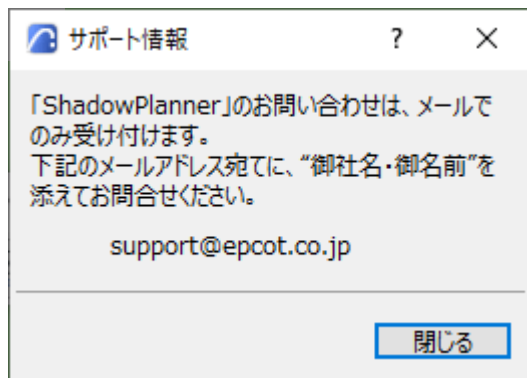
2-11 サポート情報

- サポートに関するお問い合わせ先を表示します。
- 本システムに関するお問い合わせは、メールでのみの対応とさせて頂いております。
- データを拝見しないと確認できない場合がありますのでご了承ください。

2-11-1 サポート情報を表示する

[操作手順]

- 1) メインパレットより、「サポート情報」コマンドを選択します。
- 2) 「サポート情報」ダイアログが開きます。



- 3) メールにてお問い合わせ下さい。

-
- ・本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。
 - ・このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。
 - ・本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。
 - ・本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。

Shadow Planner for ARCHICAD リファレンスマニュアル

2021 年 10 月初版

製作・発行

生活産業研究所株式会社

〒153-0043 東京都目黒区東山 1-6-7 フォーラム中目黒